

□ **大きな連携の輪をつくる**

ビジョンを実現するためには、社会を構成する多様な主体が役割を分担し、補完し合いながら共に取り組む連携が欠かせません。

ビジョンに共感し、共に行動する連携の輪が広がるほど、めざす姿の実現に向けた推進力は高まります。そのためには、ビジョンを具体化していくプロセスを透明化し、広く情報を共有する必要があります。つながりから新たな可能性を生むためにも、人もモノも情報も広く共有し、得られた成果もみんなで共有する姿勢が求められます。

□ **試行錯誤のプロセスを楽しむ**

社会の課題は複雑化しており、模範となるモデルを探して追随することは難しくなっています。ビジョンの実現に向けては、試行錯誤を繰り返しながら、自力で道を切り拓いていく覚悟が求められます。

大切なのは、実験的な試みを楽しむ姿勢です。めざす姿に近づくために何が必要かを一人ひとりが考え、学習と実践のサイクルをテンポ良く回していく必要があります。また、地域には、そうしていろいろなことにチャレンジする人を歓迎する姿勢が求められます。失敗から学び、再チャレンジする人を応援する、失敗に寛容な風土を根付かせていく必要があります。

□ **地球規模で考え、足元から行動する**

地域を変えるためには、一人ひとりの県民が足元の地域の課題に目を向け、身の回りから解決に向けた行動を起こし、地道に取り組む必要があります。

一方で、気候変動、感染症など世界共通の課題がクローズアップされています。インターネットで世界が一つにつながり、世界の動きが直接地域に影響する時代です。これまで以上に世界で起こっていることに目を向け、世界と地域双方の視点を持って、自分に何ができるかを考える姿勢が求められます。

□ **バーチャルを使いこなし、リアルを大切にする**

ICTを駆使して生活をより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションを進め、バーチャル空間を最大限に活用して自由度の高い社会をつくっていく必要があります。

しかし、いくらICTを使いこなして便利になったとしても、大切なのは人と人とのリアルな交流であり、人の温もりです。リアルとバーチャルのバランスを考える姿勢が求められます。